

特色ある科目（こども学科）

1. こども学

こども学Ⅰ

子どもの立場を重視することを大前提に、子どもを取り巻く現代の諸問題や諸事情を把握し、子どもとともに生きる社会の在り方を追求することを通して、将来を見据えた教師としての自己、子どもの支援者としての自己を育むことを目指します。特に、自らが子どもだった時を振り返る活動を通して「子ども」という人間への理解を深めていきます。

こども学Ⅱ

こども学Ⅰでは、社会の中で子どもがどのような存在なのかを、子どもの視点で考察できる姿勢をもつことを目的としています。こども学Ⅱでは、現代社会で子どもがどのような位置に置かれているのかを踏まえ、子どもが育つ適切な環境を子どもの視点で考察します。子どもを取り巻く環境とその課題を整理し、人間が成長していく過程と子どもの現実の生活を深く見据えて研究を進める姿勢を育てます。こども学の専門科目へつなぐ基本学習です。

2. 子育て実践観察研究 a b

本学こども研究センターの活動事業に実習として参加し「こども学」を学ぶ上での課題解決に努めます。4年次開講科目なので、今まで学んできた専門科目の中での課題解決の場となるように、主体的に毎時間の授業目標を設定し参加します。保育者になるための授業参加に限定するのではなく、保護者との交流を通してコミュニケーション能力をつけるなど、社会人としての様々な能力を身につけていきます。小学校教員の養成にも、就学前の子どもや家庭の実態を知ることが不可欠であり、様々な面で「こども学」の集大成となります。

3. 実習基礎セミナーⅠ・Ⅱ

幼稚園教諭・保育士・小学校教諭のいずれかの免許を取得しようとする1年次学生に対し、「資格取得にあたっての心構え」「実習に必要な知識と技能」を初歩的な段階から丁寧に指導し、学生それぞれが自分自身と向き合いつつ課題を達成していけるようにします。「附属幼稚園見学」「プレ実習」の実施と振り返りを通して、保育者・教育者となる自覚を高め、各自が予定している実習に備えます。

4. こどもと表現（音楽）

子どもが表現する音楽活動について学びます。子どもが身体的活動により表現することとは何かを、子ども達が心身の発達に応じて表現できる音楽を通して理解していきます。表現活動は教育の現場で特に重要と考えられており、表現方法はいくつもあります。音楽は楽しく取り入れやすく、子どもたちにとっては発表する機会も多く経験することから、子どもの年齢にあった音楽の表現方法を学びます。実際の子ども達が音楽発表をしたものを使って音楽活動がなぜ大切なのか？何が大切なのか？を学んでいきます。

5. 大学で学ぶ／キャリアを考える

大学における受講科目の下支えとなる「読む」「話す」「書く」活動を磨きます。また、保育・教育をはじめとする社会の問題や課題について自主的に考え、論議し、問題意識や職業意識を高めていきます。扱うテーマは多様ですが、社会全体に目を向け、自分の生き方を問う学びに取り組むのが特徴です。社会には、問いと答えを自ら生み出せる人材が必要です。自分の能力を他者のために生かすことができる人になるため、自分自身の生き方（キャリア）を築く基礎的な学習を積み重ねます。